



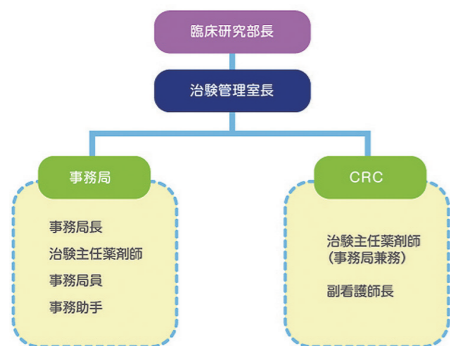
215号 発行所/ 下関市長府外浦町1番1号 国立病院機構 関門医療センター 発行責任者/ 病院長 林 弘人 印刷/(株)アートネクスト

私たちは、ケガや病気になつたときに治療のために「くすり」を服用しています。この「くすり」が世の中に出てくるためには、最初「くすりの候補」となる化合物の性質や、動物でのような作用があるか調べます。そして最終的には、健康な人や一部の患者さんの協力を得て、人の病気の治療に役立つかどうかを確かめる必要があります。

治験管理室の取り組み

参加する方の自由意思に基づいて行われ、参加される方の人権と安全性が最大限に守られなければなりません。そのため、治験は厚生労働省が定めた基準(医薬品の臨床試験の実施の基準(GCP: Good Clinical Practice))に従って行われます。この基準に従って、治験審査委員会が治験の計画内容が倫理的・科学的に適正かどうか参加される方の人権や安全性に問題がないかどうかを審査し、実施の承認を受けてから各医療機関において治験が開始されます。

現在当センターでは2件の治験が実施されています。治験管理室は、院内の関連部門と協力しながらGCPに沿った倫理性・科学性・信頼性のある治験の実施に取り組んでいます。治験管理室は事務局と治験コーディネーター(CRC: Clinical Research Coordinator)に分かれて業務を行い、事務局は治験事務局として、治験を行う



ための手順書の整備から治験の申請手続き、審査のための準備、契約関連業務、開始から終了に至る書類の処理管理・保管等を行っています。当センターの治験コーディネーターは、治験にご参加いただく患者さんの意思の尊重と安全の確保、病院内の連携の促進、信頼性のある治験の実施を心がけ、薬剤師1名(兼任)と看護師1名(専任)が業務を行っています。薬剤師は治験依頼者から治験薬を受領し、治験終了後返却するまで

GCP及び治験薬管理手順書に基づいて、治験薬の調剤及び保管、管理業務を行います。看護師は、被験者のケア、スケジュール管理や同意説明の補助業務などを行っています。治験は医学の進歩のために必要な仕事です。そして先進的な医療を受けられる機会でもあります。患者さんはもちろんのこと治験に携わる病院職員にとってもやっつけよかったと満足できる治験を目指して活動していきたいと考えています。



薬剤部長 治験コーディネーター 藤田 秀樹

外来診療担当医一覧表

2020年11月1日現在

グループ名	診療科名	月	火	水	木	金	特殊外来 ※要予約
総合診療【G2】	総合診療	午前 11:35 佐藤 穰 24 大谷 望 午後 11:35 24 担当医	佐藤 穰 担当医	11:35 古谷 雄司 24 佐藤 穰 担当医	佐藤 穰 担当医	佐藤 穰 担当医	人工ペースメーカー外来 リウマチ外来 不妊症外来 難聴・補聴器外来 ペインクリニック 禁煙外来 頭痛外来
	内科	午前 11:35 24 若林 祐介 午後 11:35 24 鶴 政俊	若林 祐介 担当医	若林 祐介 担当医	若林 祐介 担当医	若林 祐介 担当医	ススポーツ外来
	精神科(予約制)	午前 若林 祐介	若林 祐介	若林 祐介	若林 祐介	若林 祐介	膝関節外来
	糖尿病・血液内科	午前 鶴 政俊	鶴 政俊	松井久未子	鶴 政俊	松井久未子(再来のみ)	健康診断(予約制)
	歯科口腔外科(予約制)	午前 板敷 康隆	板敷 康隆	板敷 康隆	板敷 康隆	板敷 康隆	機能的脳神経外科
	心理カウンセリング(予約制)	午前 白井 麻子 黒木 浩子	白井 麻子 黒木 浩子	白井 麻子 黒木 浩子	白井 麻子 黒木 浩子	白井 麻子 黒木 浩子	手の外科 骨軟部腫瘍 パーキンソン病 セカンドオピニオン外来
女性総合診療【H2】	女性総合診療(予約制)	午後 早野 智子					
循環器病総合診療【G2】	循環器内科	午前(新来) 古谷 雄司 午後(再来) 早野 智子	古谷 雄司 大谷 望	早野 智子 大谷 望	大谷 望 古谷 雄司	大谷 望 早野 智子	
	呼吸器内科	午前(新来) 田崎 彩子 午後(再来) 田崎 彩子	加藤香織(非) 佐野 宏徳 田崎 彩子	田崎 彩子 田崎 彩子	田崎 彩子 田崎 彩子	田崎 彩子 田崎 彩子	
	脳神経内科(午後外来は予約制)	午前(新来) 田崎 彩子 午後(再来) 田崎 彩子	田崎 彩子 田崎 彩子	田崎 彩子 田崎 彩子	田崎 彩子 田崎 彩子	田崎 彩子 田崎 彩子	
	脳神経外科	午前 副島 慶輝	山下 勝弘		山下 勝弘	副島 慶輝	
	機能的脳神経外科(毎月最終月曜日(予約制))	午後 藤岡 裕士(非)					
	がん 消化器・肝臓病 総合診療【G5】	消化器内科	午前 原野 恵典 千原 大	坂口 栄樹	柳井 秀雄 千原 大	坂口 栄樹 千原 大	原野 恵典 中村 克彦
乳腺外科	午前 長島 由紀子	長島 由紀子	長島 由紀子	長島 由紀子	長島 由紀子		
呼吸器外科	午前 吉野 茂文	矢原 昇	坂本 和彦	安部 俊弘	近藤 潤也		
外科	(新来) 吉野 茂文 午後(再来) 坂本 和彦 佐伯 晋吾	矢原 昇 林 弘人 北原 正博	坂本 和彦 近藤 潤也	安部 俊弘 北原 正博 佐伯 晋吾	近藤 潤也 矢原 昇		
消化器外科	午前 坂本 和彦 午後(再来) 佐伯 晋吾	林 弘人 北原 正博	近藤 潤也	北原 正博 佐伯 晋吾	矢原 昇		
心臓血管外科	午前 村上 雅憲		村上 雅憲		村上 雅憲		
肝臓内科	午前 坂口 栄樹		坂口 栄樹				
腫瘍内科【Q2】	午前 河村 光俊 利信	河村 光俊 利信(再診のみ)	河村 光俊 利信	河村 光俊 利信	河村 光俊 利信		
放射線治療科【H2】	午前 河村 光俊 利信	河村 光俊 利信(再診のみ)	河村 光俊 利信	河村 光俊 利信	河村 光俊 利信		
麻酔科・ペインクリニック	午前 内本 亮吾 田和 聖子	内本 亮吾 藤田 文彦	田和 聖子 藤田 文彦	内本 亮吾 藤田 文彦	内本 亮吾 藤田 文彦		
長寿医療 総合診療【G1】	整形外科	午前 伊原 公一 河村 洋行 篠原 道雄	峯 孝友 富永 康弘	河村 洋行 栗山 龍太郎	伊原 公一 富永 康弘	峯 孝友 栗山 龍太郎 篠原 道雄	
	リウマチ科	午前 鄭 泰秀 徳永 貴範 (10時から)	峯 孝友 鄭 泰秀 (10時から)	鄭 泰秀 徳永 貴範 (10時から)	鄭 泰秀 徳永 貴範 (10時から)	鄭 泰秀 徳永 貴範 (10時から)	
	泌尿器科	午前(新来) 鄭 泰秀 徳永 貴範 (10時から)	鄭 泰秀 徳永 貴範 (10時から)	鄭 泰秀 徳永 貴範 (10時から)	鄭 泰秀 徳永 貴範 (10時から)	鄭 泰秀 徳永 貴範 (10時から)	
	眼科	午前 小林 博 小林 かつり 村上 直子 星 文子(非)	小林 博(予約のみ) 小林 かつり 田原 晋作 (10時以降予約のみ)	小林 博 小林 かつり 村上 直子	小林 博(予約のみ) 小林 かつり 田原 晋作 (10時以降予約のみ)	小林 博 小林 かつり 村上 直子 星 文子(非) (10時以降予約のみ)	
	耳鼻いんこう科	午前 小林 博 小林 かつり 村上 直子 星 文子(非)	小林 博(予約のみ) 小林 かつり 田原 晋作 (10時以降予約のみ)	小林 博 小林 かつり 村上 直子	小林 博(予約のみ) 小林 かつり 田原 晋作 (10時以降予約のみ)	小林 博 小林 かつり 村上 直子 星 文子(非) (10時以降予約のみ)	
	リハビリテーション科	午前 担当医	担当医	学童 外来 担当医	担当医	担当医	
透析センター【G8】	透析センター	鄭 泰秀 牧 隆司	鄭 泰秀 牧 隆司	鄭 泰秀 牧 隆司	鄭 泰秀 牧 隆司	鄭 泰秀 牧 隆司	
成育医療 総合診療【G3】	小児科	午前 牧 隆司 午後 牧 隆司	牧 隆司 牧 隆司	牧 隆司 牧 隆司	牧 隆司 牧 隆司	牧 隆司 牧 隆司	
	皮膚科	午前 下村 尚子(非) (予約のみ)				杉本 紘子(非) (予約のみ)	
	形成外科	午前 高須 啓之(非)					
産婦人科	午前 林 公一 (新患受付)	林 公一 (再診)	齊藤 剛(非) (林 公一)	林 公一 (再診)	林 公一 (再診)		
救命救急センター【ER】	救命救急センター-ER24	24時間 担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
生活習慣病センター【H3】	生活習慣病センター	午前 松本 裕美	平岡 興三	松本 裕美	松本 裕美	平岡 興三	

〒752-8510 下関市長府外浦町1番1号
 国立病院機構 関門医療センター
 診療受付時間：午前8:30~11:30
 午後(各診療科外来にお問い合わせください)
 ※休診日:土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始(12/29~1/3)※臨時休診は各外来窓口に表示

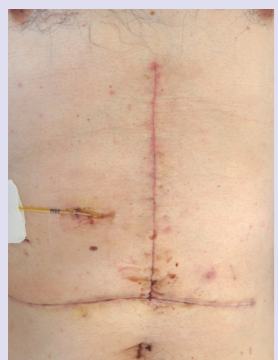
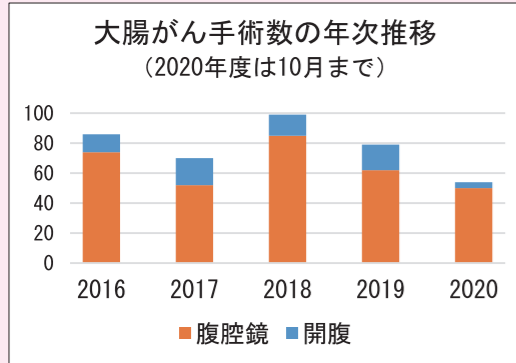
★地域連携室の直通 TEL 083-241-1191 (メッセージの後に2561・2377)
 FAX 083-241-1302
 ★代表 TEL 083-241-1199
 FAX 083-241-1301
 ★透析センター TEL 083-241-1308
 FAX 083-241-1308
<https://kanmon.hosp.go.jp/>





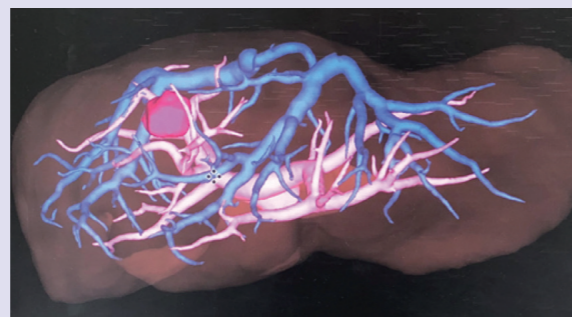
腹腔鏡下大腸切除術の手術風景

大腸がんの腹腔鏡手術は、がんの部位や進行度、また肥満や開腹歴を考慮して決定しますが、術者の経験や技術も考慮して決定する必要があります。当センターには腹腔鏡下手術に経験豊富なスタッフが多数おり、患者さんにやさしい腹腔鏡手術を積極的に取り入れています。日本内視鏡外科学会の2017年アンケートによれば、参加施設全体の大腸がん腹腔鏡手術割合は72%でしたが、当院では毎年80〜100例行っている大腸がんの手術のうち腹腔鏡の割合は2013〜2017年が80%、2018〜2020年が85%でした。



通常、肝臓・膵臓領域の手術は写真のように大開腹を必要としますが、腹腔鏡では胃や大腸と同じような小さな傷で出来ます。

肝臓・膵臓領域の外科手術は出血の危険性が高く、手技が複雑な為、通常、大開腹を必要とします。そのため、この領域の手術はどの施設でも腹腔鏡手術が行えるわけではなく、「施設認定」を取得する必要があります。また、「施設認定」は、高度な医療技術や経験を必要とする治療に対する安全性を確保するためのもので、それぞれの手術に対して、一定条件（医師の経験や施設の間実施件数など）を満たしている施設に与えられます。当センターでは年間に肝切除を約20例、膵切除を約10例行っており、腹腔鏡下の肝切除（部分切除・外側区域切除）、膵切除（膵体尾部切除）の施設認定を取得しています。また肝臓の手術の前には画像解析ソフトによる手術シミュレーションを行います。



画像解析ソフトによる肝臓の3次元画像(青とピンクが血管で、赤が肝臓がん)

専門性の高い手術ではありませんが、腹腔鏡下胆嚢摘出術も時に高度な技術を要する場合があります。当センターでは胆嚢摘出術は、ほぼ全例腹腔鏡下で行っており、年間約70例の腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行しています。

大腸の内視鏡手術

肝臓・胆道・膵臓の内視鏡手術

関門医療センター外科が得意とする内視鏡手術について

当センターの外科が得意としている内視鏡手術について紹介します。当センターでは、食道、胃、大腸、肝臓、胆道、膵臓のほぼ全ての消化器の手術で内視鏡手術を行っています。胸腔鏡や腹腔鏡を使った内視鏡手術は、従来の開胸・開腹手術と比べて傷が小さく、術後の痛みも少なく、患者さんへの負担が非常に軽い手術になります。また高性能カメラからの拡大した鮮明な画像を見ながら手術を行うため、従来の手術では見えにくかった細かい血管や神経まで見えて繊細な手術操作が可能です。



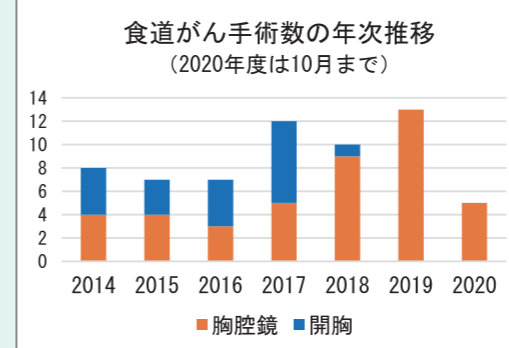
外科医長 吉野 よしふみ 茂文

食道の内視鏡手術



右開胸による食道手術の大きな傷 (右側の胸に数か所の傷)

食道がんの標準的な手術方法は頸部、胸部、腹部を開き食道を切除する開胸開腹手術となり体への負担が大きい治療となります。そこで侵襲を軽減する内視鏡外科手術(胸腔鏡下・腹腔鏡下手術)が近年食道切除にも用いられており、保険収載もされその比率は年々上昇しています。当センターでは胸腔鏡下手術を進行がんと含めて適応としており、近年では胸部食道がん手術のほぼ全例を胸腔鏡で行っています。胸腔鏡の手術は難易度が高いため、経験や知識が豊富な専門施設で行われるべき治療法になります。当センターは日本食道学会から認定を受けた食道外科専門医認定施設であり、食道外科専門医が

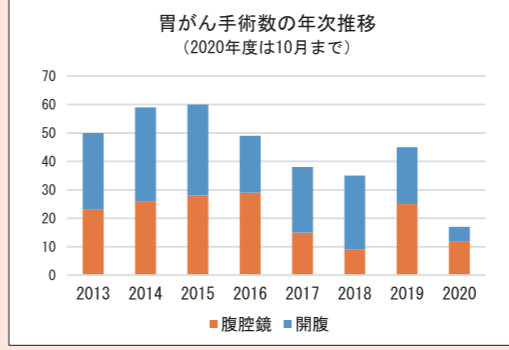


3名在籍し診療にあたります。食道がんは進行しやすい病気で難易度の高い手術が必要なため、食道がんの疑いがあったらすぐに専門病院への受診をお勧めします。

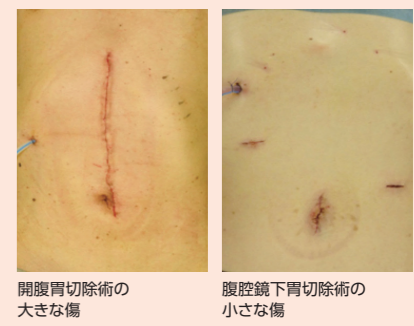


腹腔鏡下胃切除術の手術風景

胃がんは、根治切除ができれば、治る可能性が非常に高いことが分かっていますので、同じように治すことが期待できるのであれば、開腹に比べて腹腔鏡下手術のメリットはとて大きいと考えられます。実際の腹腔鏡下胃切除は、開腹手術と同じ全身麻酔で行います。手術用の高性能カメラをおへそから挿入し、腹腔内に炭酸ガスを入れて膨らませます。上腹部の左右に合計4〜5か所、5〜10ミリ程度の小さな穴をあけて、手術操作に用いる細い器具を挿入します。切除した胃は、おへその小さな傷から取り出し、新たな食事の通り道を作り直す操作(残った胃や食道と小腸をつなぐ)も腹腔鏡で行います。



従来の開腹手術では、20cm程度おなかを開けなければならなかったため、患者さんの負担は非常に大きく軽減されました。当センターには腹腔鏡下手術に習熟したスタッフが揃っていますので、近年ではより進化した胃がんに対しても、症例に応じて腹腔鏡下手術を行っています。



開腹胃切除術の大きな傷 (腹腔鏡下胃切除術の小さな傷)

胃の内視鏡手術

寄贈の御礼

この度、宇部市にある医療法人 太白会 シーサイド病院 理事長 延谷壽夫様より、医療用ガウン 3,520枚をご寄附いただきました。同じ地域医療に携わる医療機関からの申し出に、職員一同深く感謝しております。新型コロナウイルス感染拡大防止のために有効に活用させていただきます。